

「戦没者並びに満州開拓関係物故者を慰霊し平和を祈念する行事」挨拶

本日ここに、『戦没者並びに満州開拓関係物故者を慰霊し平和を祈念する行事』の開催に当たり一言ご挨拶申し上げます。

始めにこの行事の開催に当たりまして、慰霊塔奉賛会と遺族会の皆様のご尽力に厚く感謝申し上げたいと存じます。

ただいまは、先の戦争の犠牲者と満州開拓関係物故者の御霊^{みたま}の前に、村長として、ご遺族の皆様やご関係の各団体の皆様とともに、追悼と慰霊の誠を捧げさせていただきました。

特に今回は午前中に、故安江定男^{こやすえさだおみこと}命の寄せ書きの日章旗を元アメリカ兵のマーヴィン・ストロンボ(Marvin Strombo)さん自らの手で、ご遺族に返したいという強い思いから、OBON ソサエティ(NPO OBON SOCIETY)他関係者の皆様の大変なご尽力により、日章旗返還式が行なわれ記念すべき終戦記念日となりました。

大変悲しい歴史である戦争が二度と起きないように、日本とアメリカの友好と平和そして世界の平和が続くよう願って止みません

国内では、九州北部豪雨災害など大規模な自然災害が次々と発生しております。また、世界各地では、残忍なテロ事件がおこり私達の生活をおびやかす事件は後を絶ちませんが、今私達が何不自由なく暮せるのも、ここに眠られる戦没者各位の尊い犠牲とご遺族の皆様方を始めとする先輩の方々の努力と情熱に支えられたものであることを忘れてはならないと思っております。

ここまで築き上げられてまいりました平和と繁栄を、次の世代に継承することはもちろん、命の尊さや平和の尊さを永遠に語り継いでいくことが、私ども世代の大切な責務であると思っております。

今一度、この地の御霊の安らかならんことを、そして、永久にご遺族を守り、郷土東白川村の更なる発展にまい進することをお誓い申し上げてご挨拶といたします。

皆様、本日は残暑厳しい中ご参列を賜り誠にありがとうございました。

平成 29 年 8 月 15 日

東白川村長 今 井 俊 郎